



山野草 ダイモンジソウ

山地の湿った岩上に生える多年草です。切れ込みのある円い葉は厚みがあって柔らかく、株の中心から枝分かれする花茎を伸ばして、花径 2～5cm の花を多数咲かせます。名の由来は、野生品の花の形が「大」の字に似ることからきています。

とうめい news

2022.11.1
Vol.255

〒246-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

TOPICS

腎臓病専門外来の診療内容をご紹介します。 とうめい綾瀬腎クリニック 院長 田村 博之

こんにちは 腎臓病専門外来の田村博之です。

1991年3月東京医科歯科大学医学部を卒業後、同大学第2内科に入局、腎臓内科を専攻し、東京医科歯科大学病院、武蔵野赤十字病院、東京共済病院などの基幹病院で、慢性腎臓病の治療と腎代替療法（腎移植、透析療法）を中心に、研鑽を積んできました。

2019年4月、同法人のとうめい綾瀬腎クリニックの院長に赴任し、主に血液透析の診療を行うとともに、とうめい厚木クリニックで水曜日午前の腎臓病専門外来で診療をしています。

腎臓は、血液をろ過して老廃物を尿として体外へ排出することや様々なホルモンを産生することで体を正常な状態に保つ働きをしています。

この大切な腎臓にかかわる腎臓専門医として、私には2つの役割があると思っています。

役割1：患者さんの腎臓病が「深刻な腎臓病」になることを防ぐこと

皆さんが腎臓病専門外来を受診されるのは、特定健診や人間ドッグなどや、かかりつけの先生から「血液検査の結果、腎機能の数値（eGFR）が低下していますので」とか、「検尿で尿蛋白・尿潜血があるので」とかで、「専門の先生に診てもらってください」と言われた時だと思います。腎臓病専門外来を受診された方の多くが慢性腎臓病と診断されます。慢性腎臓病の方は全国で1330万人いらっしゃいます。現在「深刻な腎臓病」に至る原因の50%以上は、糖尿病に起因しています。常日頃から暴飲暴食をせず、健康的な普通の生活を送ることが大切です。そのため、腎臓病専門外来では、糖尿病をはじめとした生活習慣病の診療も一緒に行っています。

役割2：「深刻な腎臓病」になって、腎代替療法で腎臓の機能をサポートする治療を提供すること

慢性腎臓病の方で徐々に腎機能が低下し「深刻な腎臓病」になり、自分の腎臓だけでは老廃物の処理ができなくなった時、腎代替療法が必要になります。このような状態に至った方が全国で約35万人です。

腎代替療法は大きく分けて二つあります。

① 腎移植

毎年2000例程度の移植が行われ、現在約2万人の方が移植された腎臓とともに生活しています。（腎移植は素晴らしい治療方法ですが、大学病院等では実施されておらず、ハードルが高いと言わざるを得ません。）

② 透析療法

毎年約4万人の患者さんが新規に透析療法を導入されており、全国で約34万人の方が透析のある生活を送られています。

透析療法には、「血液透析」と「腹膜透析」の2種類があります。

人工腎臓を用いて血液の中にある老廃物を排出する「血液透析」は、約33万人の方が受けられています。もう一つは「腹膜透析」と呼ばれ、患者ご自身の腹膜を用いて、老廃物を排泄する方法で、約1万人の方が受けられています。この地域ではほとんどの方が「血液透析」です。当院では現在数名の方が「腹膜透析」を受けられています。

「腹膜透析」はご自身ご家族がご自宅で治療を行いながら、生活していく治療です。その治療の仕方は誰にでもできるように簡素化していて難しいものではありません。

そして、私たち医療スタッフは、患者さんの体調をお聞きし、検査結果を見ながら、また、患者さん自身の生活のリズム、ご自身のお考えを聞きながら、ご希望に即したオーダーメイドの治療を提供しています。

腎臓病は一生付き合っていくかなくはない病気です。腎臓専門外来はそれぞれの場面で、それぞれの患者さんに最良の治療とサポートを提供していきます。

何か気になることがありましたら、遠慮せず、受診していただければと思います。

